

新しい未来を作るには常識を疑う事

多様な社会を
皆が役割を
女性も男性も
子供も大人も

Ai時代の到来にどう備えるか

みいちゃんのお菓子工房

自閉症の我が子を小学6年生で娘をパティシエ兼店長へ

世の中の常識にまどわされず
我が子を支え自分らしく生きる道
を進んだ先に見えた世界

3つの顔で寄り添い
我が子を自立に導いた
秘話とは

今も3人の我が子の不登校に向き合い続ける十数年。子どもの繊細な感性を伸ばす事だけを考え、目の前の成果は求めない。時期とタイミングは必ずくる。その子によって時間の感覚は人それぞれ。母として事業者として、そして支援者として・ この経験が親・子・支援者を支える力に

これは障がい者ストーリーで
なく社会を変える一歩

母



経営者



支援者



プロフィール 杉之原千里 (すぎのはらちさと)

滋賀県在住。3人の子を持つ5人家族の母(みいちゃんの母) 現役会社員。フルタイムで勤務しながら「みいちゃんのお菓子工房」を2020年1月プレオープン。本業の傍ら、ケーキ屋のオーナーとして家族以外とコミュニケーションが取れないみいちゃんをサポート。小学生でパティシエとしてお店を任せ、新聞、テレビ、雑誌、ドキュメンタリーなど多くのメディアで紹介される。2023年3月、みいちゃんが義務教育を卒業したのを機にグランドオープン。これまでの経験を活かし若者向けの社会貢献活動も行う。企業や大学、自治体、教育関係者への講演実績多数。2024年6月「みいちゃんのお菓子工房」を開放し、子供達の学びの場としてスイーツキッズラボ体験事業を開始。

著書『みいちゃんのお菓子工房』12歳のパティシエ誕生 ～子育てのアンラーニング～

みいちゃんのお菓子工房

滋賀県近江八幡市上田町1257-18



みいちゃんのお菓子工房

